指定販売店様専用

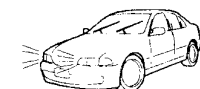
※ お客様は絶対に作業を行なわないでください。

取り付け上のご注意 ／必ずお読みください

⚠警告

- 必ずバッテリー⊕端子及び、⊖端子を外してから作業してください。
  バッテリー端子は必ず⊖端子から外し、ショートさせないよう充分ご注意ください。
- 雨等のあたる場所での作業は避けてください。濡れた手での作業は、感電する恐れがあり大変危険です。
- バルブ、ハーネス類、コントローラー、イグナイター等は分解及び、改造はしないでください。加熱やショートの原因となる他、最悪は車両火災の恐れがあります。改造による不具合については一切責任を負いかねます。
- 感電及びショートを起こす恐れがありますので、バッテリーの⊕端子と⊖端子に金属が同時に触れないよう充分ご注意ください。必ずゴム手袋等を着用し防護処置をしてください。
- H.I.Dバルブは落としたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないでください。破損した場合、ケガの原因となります。又、機能低下や寿命時間の低下につながる場合があります。
- コネクターの脱着は、コネクターを持って、確実に行なってください。
  不確実な接続は、不点灯の原因となります。

⚠注意

- 作業は、平らな場所で充分なスペースと安全を確保して行なってください。
  又、車両はシフトノブをニュートラル又は、パーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、ヘッドランプスイッチをOFFにして、キーを抜いておいてください。
- 作業は、エンジンルーム内が充分冷えてから行なってください。特にエンジン本体、ラジエーター、オイルクーラー、ターボタービン部等、高温部が熱い内は、作業しないでください。
- バルブ、ハーネス類、コントローラー及び、イグナイター等のお取り扱いには充分ご注意ください。
  落としたり、物を当てたりして衝撃が加わるとバルブ、ハーネス類、コントローラー及びイグナイターの損傷につながります。
- 取り付け及び、取り外しの際はバルブ、ハーネス類、コントローラー、イグナイター及び、車両に傷をつけないよう充分ご注意ください。
- 取り外した部品類は、なくさないよう充分注意してください。
- 作業は必ず2人以上で行なってください。
- ボルト類は確実に締め付け、試験走行を行ない、ゆるみが出た場合は、増し締めを行なってください。
- バルブ取り付け後、必ずPIAA指定販売店様にて光軸調整を行ない、ヘッドランプLowビーム側は照射光線の主光軸が車体前方40m以内を照射し、進行方向対し左側を向き、対向車にまぶしくないように調整してください。（法令で規定されています）
- 取り付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類、ワイパー及び、ホーン等正常に作動するか確認してください。
- バッテリー端子を取り外すと、時計、ラジオ、オーディオ等のメモリーが消えますので、作業終了後元通り直してください。（修正方法は車両の取扱説明書等を参照してください。）
- H.I.Dバルブ取り扱いの際には、ガラス部には絶対に手を触れないでください。
  又、汚れを付着させないでください。寿命を早める他、機能を損なう恐れがあります。
- H.I.Dバルブは口金形状を確認し、向きを確かめて確実に装着してください。
  又、ハーネスの接続は確実に行なってください。誤った装着や不確実な接続は、不点灯及びバルブの脱落や加熱、寿命時間の低下につながります。
- H.I.Dバルブは、点灯テストの時以外は灯具の外で点灯させないでください。

指定販売店様専用

※ お客様は絶対に作業を行なわないでください。

配線上のご注意 ／必ずお読みください

⚠警告

● コネクターを接続する場合は、カチッと音がするまで確実に差し込み、固定してください。

● コネクターを抜く場合は、コネクター本体を持って抜いてください。
コードを引っ張ると接続部が損傷し、加熱等が発生して危険です。

⚠注意

● バッテリー端子脱着の際、他の電装品コードと接続している場合は、⊕と⊖を間違わないようビニールテープ等で束ねて区別しておいてください。

● ⊕電源コードと⊖アースコードは色をご確認の上、確実に接続してください。

● ⊕電源は、オルタネーター（発電器）からとらないでください。

● ハーネスは、エンジン、ラジエーター等エンジンルーム内の高温部に触れないよう配線してください。

● リレー及び、ヒューズボックスは必ずハーネスが下向きになるよう、ボルトやタイラップ等でしっかりと固定してください。ハーネスを横向きや上向きに固定すると水等が入り、作動不良を起こす原因となりますのでご注意ください。

● リレー及びヒューズボックスから出ているハーネスを、左右に強く引っ張らないでください。
端子の加締めが外れ、接触不良の原因となる場合があります。

● ハーネスは、可動部に噛み込まないように配線してください。

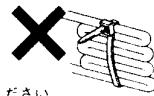
● ブレーキ配管及び、エアコン配管等の高圧配管にはハーネスを固定しないでください。

● ハーネスがエッジ部に当たる時は、市販のクッションテープ等でハーネスを保護してください。

● リレーハーネスは過熱する恐れがありますので、極端に小さく折りたたんでまとめて固定しないでください。

● バッテリーを接続する前に再度配線の確認を行なってください。

● バッテリー端子及び、電装品コード接続の際は、⊕と⊖を絶対に間違わないように充分にご確認の上、必ず⊕端子から取り付けてください。

● 配線完了後、作動を確認してください。点灯しない場合は、後述の『こんな時には……』をお読みください。

使用上のご注意 ／安全にお使い頂く為に必ずお読みください

⚠注意

● 不点灯等のトラブル発生時は、後述の『こんな時には……』をご参照ください。

● バルブ等いかなる部品の交換も、全てPIAA指定販売店にて行なってください。

● この商品は自動車用灯具ですので、自動車以外には取り付けないでください。

● 火災の原因となりますので、紙や布等燃えやすい物及び、ガソリン、可燃スプレー、シンナーラッカー等引火する危険性のある物の近くで点灯しないでください。

● エンジンがかかっていない時、点灯させておくとバッテリーが上がり、エンジンがかからなくなる事がありますのでご注意ください。

● ヘッドランプの点滅を頻繁に繰り返すと、H.I.Dバルブの寿命を早める原因となりますので、行なわないでください。又、ロービーム／ハイビームの切り替え及び、パッシングを5回以上行なわないでください。H.I.Dバルブの寿命低下、ローハイ切り替えユニット破損や故障の原因となります。

● エンジンを止める時は、必ずヘッドランプのスイッチをOFFにしてからエンジンを止めてください。
ヘッドランプのスイッチをONの状態でエンジンを始動させると、車両電圧の変動等により、H.I.Dバルブの寿命を早める原因となりますので、充分ご注意ください。

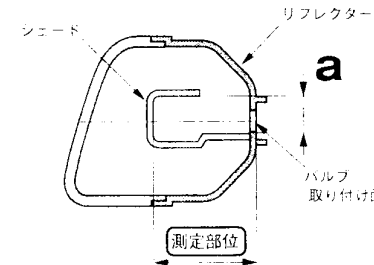
作業をはじめる前に

取り付け可否の確認

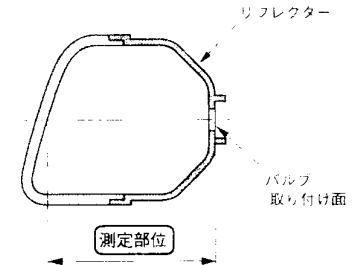
● ランプ側バルブ取り付け部の奥行き（バルブ取り付け面を基準面とし、そこからシェードやレンズまでの距離）を確認してください。
※ H.I.Dテスターやノギス等により確認してください。

灯体にシェードがついている場合

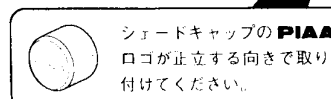
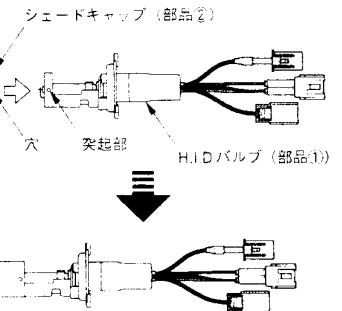
● バルブ取り付け面からシェードまでの距離が58mm以下の灯体は、取り付けできません。

● H.I.Dバルブ自体に外形⌀25mmのシェードが付いておりますので、a寸法がこの径より小さい灯体は、取り付けできません。

灯体にシェードがついていない場合

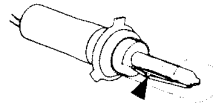
● バルブ取り付け面からレンズまでの距離が60mm以下の灯体は、取り付けできません。

※ 灯体にシェードがついていない車両の場合、H.I.Dバルブにシェードキャップを取り付ける必要がありますので、下記の要領で作業を行なってください。

● バルブ取付部裏側が60mm以上ない車両は、取り付けできない場合があります。

シェードキャップ取り付け方法

H.I.Dバルブ（部品①）先端の突起部とシェードキャップ（部品②）の穴を合わせて、**PIAA**ロゴが正立する向きに取り付けてください。

※ ヘッドランプにシェードが付いている場合、本作業は不要です。

バルブ外観確認

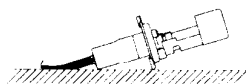
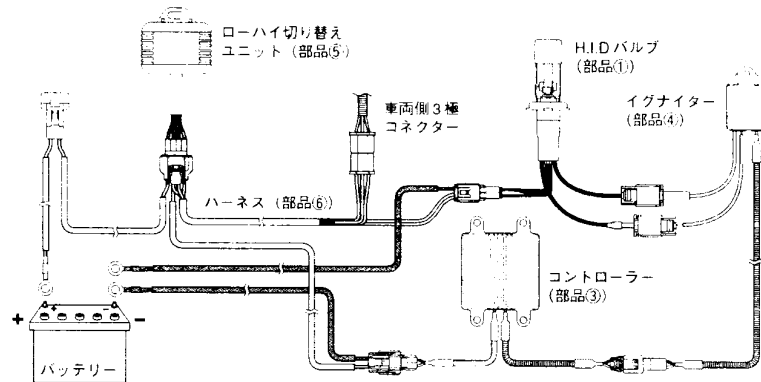
● バルブの破損、傷、汚れ等がないかご確認ください。
バルブに破損、傷、汚れ等がありますと、不点灯の原因となります。

バルブ点灯テスト

《点灯テスト手順》

① H.I.Dバルブ（部品①）を箱から取り出し、接続図に従ってイグナイター（部品④）やコントローラー（部品③）にそれぞれ接続し、ハーネス（部品⑥）をローハイ切り替えユニット（部品⑤）、バッテリー端子及び、車両側3極コネクターに仮付けしてください。

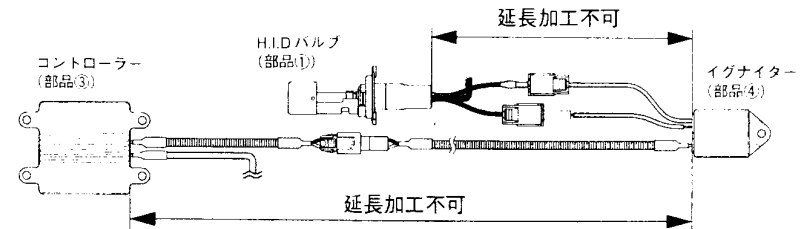
② 接続終了後、ヘッドランプのスイッチをON（ロービーム）にして、ロービームの点灯を確認してください。

③ ヘッドランプのスイッチをハイビームに切り替え、ハイビームへの切り替え、点灯を確認してください。

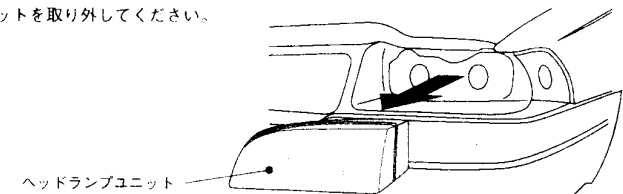
④ 点灯及び、ローハイの切り替えが確認できれば、テスト終了となります。

点灯の際、H.I.Dバルブのガラス部及び、シェード部は大変熱くなりますので、燃えやすいものから遠ざけ、左図のように置いて点灯テストを行なってください。

● 点灯テスト時間は、10秒以内で行なってください。
● 装着前の点灯テストを怠り、装着作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますので、ご了承ください。
● 点灯テスト後、H.I.Dバルブは大変熱くなっておりますのでガラス部及び、シェード部に触らないようご注意ください。

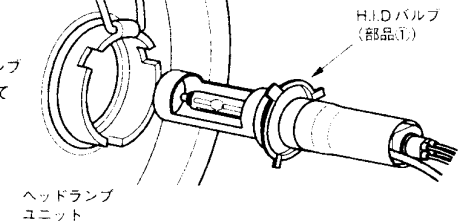
コントローラー、イグナイター取り付け位置確認

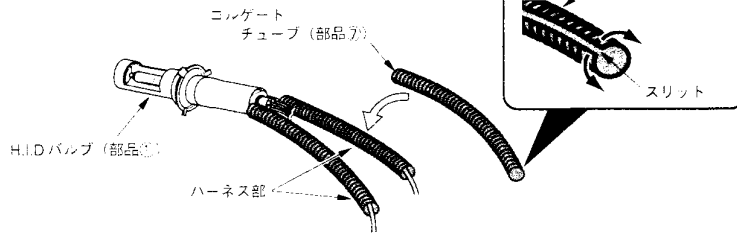
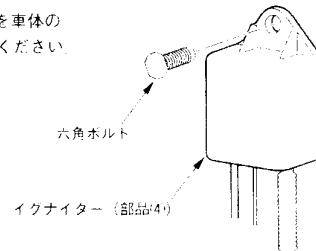
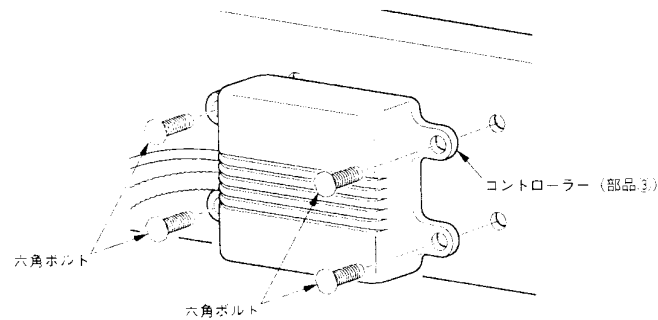
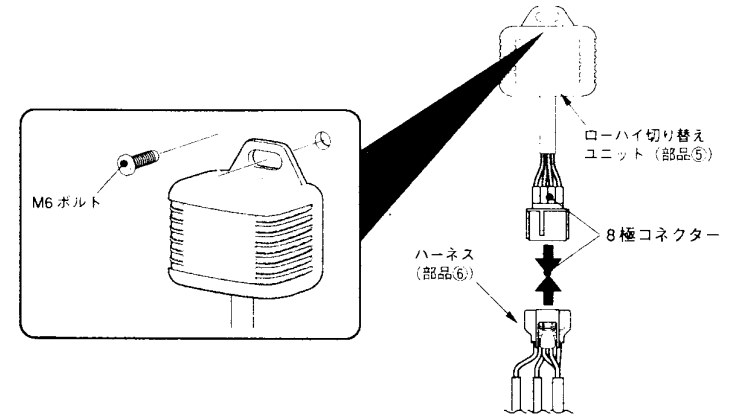
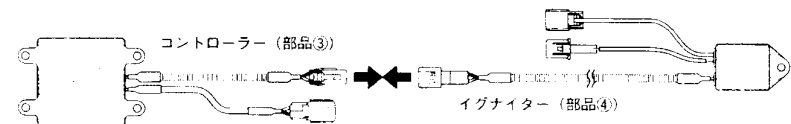
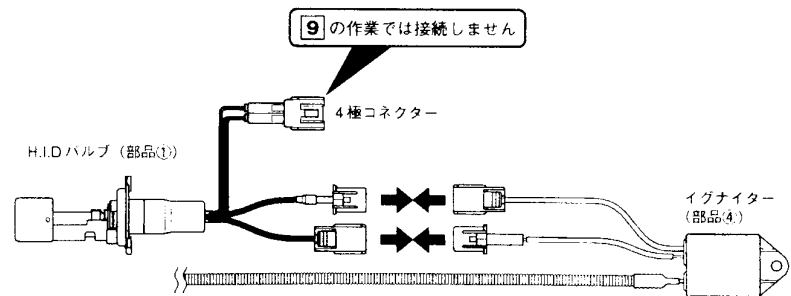
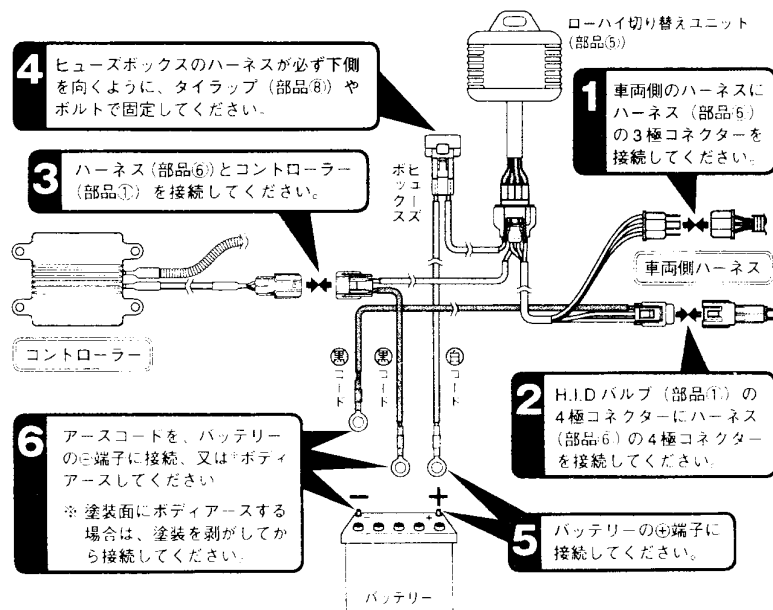
● 本製品は、延長による電圧降下から点灯不良が発生する恐れがある為、コントローラーからイグナイター、H.I.Dバルブまでの配線は加工ができません。作業前に必ず、コントローラー、イグナイターの取り付け位置を確認してください。

取り付け配線手順

1 バッテリーから⊖端子と⊕端子を取り外してください。

2 車両取扱説明書を参照し、車両からヘッドランプユニットを取り外してください。

ヘッドランプユニット

3 ヘッドランプユニットからバルブを取り外し、H.I.Dバルブ（部品①）を取り付けてください。

※ 純正のゴムキャップはH.I.Dバルブ取り付け後、元通りに取り付けてください。

取り付け配線手順

4 純正のゴムキャップを取り付けた後、H.I.Dバルブ（部品①）のハーネス部に、コルゲートチューブ（部品⑦）を取り付けてください。

5 図のように、イグナイター（部品④）を車体の六角ボルトにて車体へ確実に固定してください。

6 コントローラー（部品③）を六角ボルト等で車体へ確実に固定してください。

コントローラー（部品③）を取り付ける際、必要に応じて市販のブラケット等をご使用ください。

10 車両側のハーネスとコントローラーの間に、ローハイ切り替えユニット（部品⑤）及び、ハーネス（部品⑥）を下記取り付け順序に従って接続してください。
又、ハーネスには、コードの長いタイプと短いタイプがありますので、短いハーネスはバッテリー側の車両側ハーネスと接続し、長いハーネスはバッテリーから遠い車両側ハーネスと接続してください。

11 外したヘッドランプユニットを元に戻してください。

12 1 にて取り外した、バッテリー端子を元に戻してください。
（⊕を先に取り付けた後、⊖を取り付けてください。）

13 取り付け後、点灯確認及び、ローハイの切り替え確認を行なってください。

14 取り外した部品を元に戻してください。

15 適正配光に調整してください。
（明るさが大幅にアップする事により、今まで目立たなかった光が見え、配光が異なって見える場合があります。）

こんな時には……

お客様へ ‥‥不点灯等、異常が発生した場合は使用を中止し、PIAA指定販売店様のメンテナンスを受けてください。バルブ、ハーネス類、コントローラー及びイグナイター等各部品は、絶対に手を触れないでください。

取付店様へ ‥‥この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡しください。

■ 下記のような症状は故障ではありませんので、ご了承ください。

● 左右で発光色が違う

H.I.Dの特性上、バルブごとの発光色に差がでる場合がある為、全く同一にする事ができません。
又、経年変化による発光色の変化量にもバルブごとに差がでる場合があります。

● 点灯直後に発光色変化する

H.I.Dの特性上、点灯直後は発光色が変化します。10～60秒程度で発光色は安定します。

● コントローラー、イグナイターから高周波音がする

電圧を制御している音であり、異常ではありません。

上記以外の症状が見られる場合は、下記チャートに従って、各部を点検してください。

[1] 取り付け後、点灯しない時

点検	NG時
バッテリーの⊕と⊖が接続されているか点検してください。	バッテリーの⊕と⊖を接続してください。
↓OK	
各コネクター、端子のつなぎ忘れがないか点検してください。	取扱説明書に従い、確実につないでください。
↓OK	
コネクターの接続が不確実でないか点検してください。	不確実な部分を確実に接続してください。
↓OK	
リレーハーネスのヒューズが切れてないか点検してください。	原因を取り除き、ヒューズを新しいものと交換してください。
↓OK	
リレーハーネスのボディアース部分が確実にアースされているか、点検してください。	車両側のアースポイントに変更してください。
↓OK	

PIAAスポーツ事業本部に連絡の上、メンテナンスを受けてください。

[2] 突然点灯しなくなったら…

コントローラーの安全装置が働いている場合があります。
ヘッドランプスイッチをOFFにして数分間たった後、スイッチをONにしてください。

点検	NG時
コネクターの接続が不確実でないか点検してください。	不確実な部分を確実に接続してください。
↓OK	
リレーハーネスのヒューズが切れてないか点検してください。	原因を取り除き、ヒューズを新しいものと交換してください。
↓OK	
リレーハーネスのボディアース部分が確実にアースされているか、点検してください。	車両側のアースポイントに変更してください。
↓OK	

PIAAスポーツ事業本部に連絡の上、メンテナンスを受けてください。